

群馬県立高崎高等学校(全日制)学校評価一覧表②(平成30年度版)

(様式2)

評価対象	評価項目	羅 針 盤 具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
			①	②	総合			
I 3F精神に根ざす活力ある高生を育成し、活気にあふれた特色ある学校づくりに努めていますか。 (全体・生徒部)	1 生活規律の確立	① 各学期1回挨拶週間を設定する。 ② 移動教室や集会の行動を早めチャイムスタートを徹底する。 ③ 全校生徒のフィルタリングの徹底・非公式サイト の未登録。						
	2 交通安全の推進	④ 雨合羽着用率100%。 ⑤ 交通事故・苦情0件。 ⑥ 自転車の盗難・いたづら・無施錠0件。						
	3 教育相談業務の充実	⑦ 毎週教育相談・生徒部会議の実施。 ⑧ 教育相談係を中心にチームとして協力し抱え込み防止。 ⑨ 生徒・保護者がSCを有効活用するためのマネジメントを教育相談係を中心に行う。						
	4 生徒会活動の充実	⑩ 定期戦ホームでの72回大会の勝利・翠巒祭の成功。 ⑪ 部活動加入率の増加・高校総体優勝。 ⑫ 年1回以上の地域の清掃活動・全校生徒による古紙回収						
II 健康と安全への理解を深め、学習環境と教育設備の整備に努めていますか。 (保健環境部・事務部)	5 健康な身体と健全な精神を育成するため、自主的・積極的に心身を鍛えることができる資質・能力を養う。	⑬ 「保健だより」を定期的に発行する。 ⑭ 家庭に向けての受診の呼びかけを強化する。						
	6 健康的で落ち着いた集団生活を維持するために、安全で衛生的、かつ快適な学習環境を整備する。	⑮ 保健委員による校内巡視を毎月実施する。 ⑯ 学習環境が快適であると感じている生徒が80%以上。						
	7 校内美化の推進及びゴミの分別・減量を徹底し、リサイクル活動に取り組み、省エネエコ活動を推進する。	⑰ ゴミの分別の徹底。						
	8 防災意識を高める。	⑱ 訓練時の行動に関する生徒の自己評価が90%以上。						
III PTA・同窓会・地域と連携し、本校の教育活動を発展させていますか。 (広報渉外部)	9 PTA・同窓会・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。	⑲ PTA総会の出席率が50%を超える						
	10. 情報管理を徹底した上で、情報モラルについて機会がある毎に職員に情報を提供し、セキュリティ意識の向上を図るとともに、必要な情報は、Webページ等を利用し積極的に発信する。	⑳ 職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。 ㉑ 随時Webページを更新する。						

群馬県立高崎高等学校(全日制)学校評価一覧表②(平成30年度版)

(様式2)

評価対象	評価項目	羅針盤 具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
			①	②	総合			
IV 質が高く、内容が豊かな「力のつく授業」を展開し、学力を向上させていますか。 (教務部)	1.1 適切に授業時間を確保し、力のつく教育課程を編	⑳ 臨時時間割の、行事前の日程に余裕をもった提示と、入替えの、年間行事予定表への記載						
	1.2 校内諸活動計画の調整を行う。	㉑ 調整ミスによる直前の計画変更や、当日の中止といった事態を起こさないこと。						
	1.3 教員個々及び集団としての教科	㉒ 年2回以上の実施。 ㉓ 新しいシラバスを評価する生徒が80%以上。						
	1.4 成績処理・各種教務関係書類作成等の事務を正確かつ適正に実行する。	㉔ 教務部の係ごとの打合せ回数を増やすこと。						
V 3年間を見通したキャリア教育を推進し、進路目標を達成した上で、自己実現を図っていますか。 (進路部)	1.5 高い志を育成し、学ぶ意味を知り、自ら学ぶ生徒を育てる。	㉕ 学習時間の向上 部で活動中：平日平均学習時間 最低でも2.5時間 部活引退後：平日平均学習時間 最低でも3.5時間 ㉖ 1年次：志(どのように社会貢献をするか)と夢(何をやりたいか)の明確化 2年次：学部・学科の明確化と志望大学の決定 3年次：受験大学の確定 ㉗ 志と夢、志望大・学部・学科の明確化。 ㉘ 志、夢を叶えるための具体的道筋の理解。						
	1.6 学力・進学実績の向上を達成する。	㉙ 授業観察・授業研修と生徒によるアンケートの活用 模試の成績向上 1年次：英数国総合ベネッセ偏差値 65 2年次：英数国総合ベネッセ偏差値 65 3年次：英数国総合ベネッセ偏差値 62 ㉚ 教師・生徒の信頼関係の向上						
VI SSH事業を効果的に運営して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度を育成していますか。 (SSH部)	1.7 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度を育成しているか。	㉛ 職員間で具体的に育成すべき生徒像を共有できている状態で課題研究Ⅰの指導に職員があたっている。 ㉜ 1学年の70%が1学年の課題研究終了時にPDCAサイクルを1巡できている。						
	1.8 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ態度を主として課題研究ⅡⅢの活動を通して深化させる。	㉝ SSHクラスの80%が3学年の課題研究終了時にPDCAサイクルを1巡できている。 ㉞ 統計学や数理モデルの考え方を活用した課題研究を行う生徒が複数グループ現れている。						
	1.9 スーパーサイエンス部の活動を普及させ、科学に対する興味関心を向上させるとともに、自己実現に向けて主体的に学ぶ態度を育成する。	㉟ SSH事業を多くの生徒が享受できる状況あり、多くの生徒がSSH事業の課外講座に参加できるようにする。 ㊱ 科学の甲子園などの科学コンテストにおいて全国大会に出場する団体が2つ以上である。						
VII 読書習慣を形成し、図書館活用の活性化を図っていますか。 (広報渉外部)	2.0 生徒の読書習慣を早期に育成するとともに、図書館活用の活性化と蔵書管理を徹底する。	㊲ 生徒の読書習慣を早期に育成する。 ㊳ 図書館利用の活性化と蔵書管理を徹底する。						
	2.1 図書委員会の活動を充実させる。	㊴ 図書委員会の活動が活発である。						
	2.2 SSH課題研究論文の作成を支援する。	㊵ SSH関連図書を100冊以上収蔵する。						